



### 人権ふれあい行事

～地区行事と人権との

つながりについて～

人権ふれあい行事とは、皆さんの住んでいる地区の行事のことです。それがなぜ、人権ふれあい行事なのかというと、地区の行事を人権という視点から見直して実施してほしい、という願いからです。区長や役員の方々は「安全で 安心して 気持ち良く暮らす」(人権の視点)ことを願って、行事では様々な配慮をしながら実施しています。この区民一人ひとりに配慮していることが「人権を守る行動」そのものだと思います。

武蔵町では、平成19年度に「人権教育推進モデル地区」として3地区を指定し、平成21年度には区長の皆さんのご理解・ご協力により武蔵町内全地区で人権教育担当者を設置していただき、名称を「人権ふれあい行事」と改称しました。人権教育担当者は、区長や役員の方々と共に区民の皆さんが「安全で、安心して気持ち良く暮らす」(人権の視点)ことができるようご尽力いただいています。



行政区から報告された人権ふれあい行事(平成23年度)

今回は昨年度報告いただいた中から、人権との関係について述べてみます。各地区で実施されている行事は次表のように、歴史的に長いものや、比較的最近実施された新しいものがあります。

- 平成23年度報告された行事**(名称は各地区で異なる)
- ① 文化祭・公民館祭り 歩こう会 ラジオ体操 運動会・スポーツ大会等
  - ② 敬老会 盆踊り 地区のお祭り 清掃活動・草刈り 集まりごと(観桜会、村中籠もり、泥祭り 子ども会等)
  - ③ 命を守る(防災・防火活動・黄色い旗)
  - ④ 保存会(吉弘楽、内田龍神太鼓)
  - ⑤ 地区活性化の活動(内田龍神プロジェクト)
  - ⑥ 地区人権学習会 等

盆踊りや祭りは室町から鎌倉時代にかけて各地に広がったようで、長い歴史を持っています。清掃活動は道普請や用水路改修・掃除等と共に地区の公役(くやく・役目)としてあったのではないかと思われます。いずれも私達が生まれる以前からあった祭りや様々な活動が、なぜ人権と関係があるのでしょうか。

**盆踊りや祭りが、なし人権と関係があるんかえ？**

人権という視点から考えてみますと、盆踊りや祭りには慰霊祭や直会(なおらい)・お座等での歓談があります。地域の人と帰省した人との歓談もできます。車社会により地域内での出会いが減ってきている現在、子どもから大人まで幅広く人との関係が深まり、地区の絆がより深まるこういった場は特に大事なものです。盆踊りの夜、花火大会やくじ引きを開催し交流の場を工夫している地区もあります。このように歴史的な行事の中にも人間関係づくりという人権の要素が含まれています。

**清掃活動や草刈りが、なし人権と関係あるんかえ？**  
私たちは自分の住む家を掃除します。快

適な生活を送るためです。同じように、自分の住む周りが綺麗だったらみな気分のよいものです。地域の環境整備・美化はその地区に住む人が安らぎを感じます。区民が気持ち良く暮らすことができます。「区民のために」というボランティア精神も育みます。公役(くやく)の意味合いが強い行事ですが、最近では老人クラブ等によるボランティア清掃も行われています。快適な環境は、気持ち良く暮らすという人権の要素の一つだと考えます。

表中の行事を見ると、命を守る、心を育む、地域のふれあい・人間関係づくり・仲間づくり等いろいろな人権の要素が含まれています。

人が集まれば、そこには人権があります。「集うところに人権あり」を、今一度考えてみませんか？

(文責 武蔵分室 高井)

### 第6回国東市隣保館まつり

「川柳」応募作品

人柄は見えぬ心を写し出し

国見町 楠 勇

あいやこで重んじ心の窓開く

武蔵町 木村 弘治

### お知らせ

☆同和問題学習会(隣保館)

1月17日(木) 午後2時

問い合わせ 国東市隣保館

☎0978-68-11722